28　　聖人のすばらしさ 　文法　限定形

次の文章は『論語』の「子曰はく、歳寒くして然る後に松柏の遅れて（凋）むを知る」について触れたものである。

「松　柏　㆑ルト ムニ。」①松　柏　㆓ 　**一レ**　也。②　㆓衆　㆒ ㆑ 　耳。㋐凡　木ハ 皆　以㆑テ 冬ヲ 落㆑トシ葉ヲ、至㆑リテ 春ニ 而　後ニ ㆑ク 葉ヲ。③松　柏　　㆑ 　、新　葉　　、　　旧　葉　黄　。今　南　中ノ 花　木、有㆑ル 不㆑ルコト 　　㋑易㆑ 葉ヲ 者ハ 皆　然ル 也。チ 知ル、④聖　　 　 ㆑

語注

松柏＝松や柏（このてがしわ）。いずれも常緑樹。

凋＝葉がしおれて落ちる。

抽＝芽生える。

南中＝南方の地方。

聖人＝孔子。『論語』はその言行録。

苟＝なおざり（いいかげん）にする。

【原文】

「松　柏　後　凋。」松　柏　未　嘗　不　 凋　也。但　於　衆　木　為　後　耳。凡　木　皆　以　冬　落　葉、至　春　而　後　発　葉。松　柏　独　以　春　抽、新　葉　既　長、而　後　旧　葉　黄　落。今　南　中　花　木、有　不　易　葉　者　皆　然　也。迺　知、聖　人　下　字　不　苟　如　此。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

多くの木は冬に〔　　　　〕し、〔　　　〕に葉を開かせるが、松や柏は異なっている。その点から考えてみると〔　　　　〕の「松柏後凋」という言葉は行き届いたものである。

問二　波線部㋐･㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　限定形

　⑴　次の①・②と同じ読みを持つ漢字をそれぞれ二つ挙げよ。〈1点×2〉

①唯　　②而已

①〔　　　　〕〔　　　　〕　②〔　　　　〕〔　　　　〕

⑵　次の文の１を現代語訳し、２を書き下し文にせよ。〈2点×2〉

1　初メハ 極メテ 狭ク、纔カニ 通㆑ズルノミ 人ヲ。 　　 （桃花源記）

2　自㆑リハ 非㆓ザル 聖　人㆒ニ、所㆑ 難㆑キ レ 也。 （慎思録）

1〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①の解釈として最も適当なものを選べ。 〈6点〉

ア　松や柏は落葉することもある。

イ　松や柏は必ず落葉する。

ウ　松や柏は一度も落葉したことがない。

エ　松や柏はいつも落葉するとは限らない。

〔　　　〕

問五　傍線部②について、

　⑴　書き下し文にせよ。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵　現代語訳せよ。 〈7点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部③はどのようなことを言っているのか。四十字以内で具体的に説明せよ。 〈12点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部④は聖人のどのような点をほめたたえているのか。最も適当なものを選べ。 〈6点〉

ア　松や柏などの植物に、人間と通じる性質を見出している点。

イ　松と柏の微妙な違いに注目して、両者を使い分けている点。

ウ　松や柏の性質をよく観察して、正確な表現をしている点。

エ　松や柏と同様に、南方の花や木の性質も熟知している点。

〔　　　〕

【解答】

問一　落葉　春　聖人

問二　㋐＝およそ　㋑＝かえ〈4点×2〉

問三　⑴　①＝惟・徒・但・真・只・直・特　など〈1点×2〉

　　　　　②＝已・耳・爾　など

⑵　1＝初めはとても狭く、やっと人が通れるだけだった。〈2点×2〉

　　　　　2＝聖人に非ざるよりは、免れ難き所なり。

問四　イ〈6点〉

問五　⑴　但だ衆木に於いて後と為るのみ。〈5点〉

⑵　ただ、他の多くの木（松柏以外の木）に対して後になる（遅れる）だけだ。〈8点〉

問六　松や柏だけは、春に芽生えた葉が成長した後で、古い葉が落ちる性質を持つということ。（40字）〈10点〉

問七　ウ〈7点〉

【現代語訳】

　（『論語』に）「松柏は後れて落葉する」という言葉がある。（常緑樹の）松や柏は今まで一度も落葉しないことはなかった。（必ず落葉するのである。）ただ、他の多くの木に対して後になる〔＝松柏は衆木より遅れる〕だけである。総じて木というものはみな冬になると葉を落とし、春になると新しい葉を出すものである。（しかし）松や柏だけは春になると芽生え、新しい葉が成長してしまってから、その後で古い葉が黄色くなって落ちる。ところで南方の花木について言えば、葉をかえない性質のあるもの〔＝常緑樹〕はみなそうである。それでわかるのである、聖人〔＝孔子〕が一字一句を使うにもなおざり（いいかげん）になさらなかったのは、これほどであるということが。

【書き下し文】

「むにる。」と。だてまずんばあらざるなり。だにいてとるのみ。そはをてをとし、にりてにをく。りをてで、にじて、るにす。の、をへざることるはるなり。ちる、のをすことくもせざることくのごときを。

【補充問題】

問１　「松柏未嘗不凋也。」（１行目）を書き下し文にせよ。

問２　「皆然也」（５行目）とあるが、「然」の指示する内容を文中から十五字以内で抜き出し、最初と最後の三字（送り仮名・返り点・記号は含まない）を答えよ。

問３　「聖人」（５行目）は、『論語』にその言行が記されている人物である。誰のことか答えよ。

問４　「如此」（６行目）について、

(1)　読みをひらがなで答えよ。

(2)　これが指示する内容を本文中から漢字五字以内で抜き出せ。

【補充問題解答】

問１　松柏未だ嘗て凋まずんばあらざるなり。

問２　以春抽～葉黄落

問３　孔子

問４　(1)かくのごとし

(2)松柏後凋